

平成17年 7月14日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

7月定例所長会見における千野所長挨拶内容

全号機が運転再開した節目の所感と当発電所の取り組み状況について

福島第一原子力発電所1号機は6月29日に福島県からご了解いただき、7月8日に運転を再開、7月13日からは発電を開始いたしました。当発電所では、すでに平成16年7月に全号機が運転開始していますが、不祥事以降に計画的に停止し、点検・補修を実施した17基全てが運転を再開したという節目でもありますので、本日は私の所感や最近の柏崎刈羽原子力発電所での取り組み状況についてお話ししたいと思います。

まずは、新しいスタートを切るにあたり、この3年近くの間、頂戴しました地域の皆さまの多くの声を貴重な教訓として心に深く刻み込み、今後とも安全で信頼していただける発電所づくりを目指して弛まぬ努力をしていかなばならないと決意を新たにしているところです。

そのためには、まずは安全を最優先に発電所を運営し、その上で、情報公開の徹底による透明性の確保、現場作業管理の改善や協力企業と一体となった業務品質の向上など、これまで行っている活動を継続してひとつひとつ愚直に取り組むことが重要だと思っています。

現在、発電所で取り組んでいる活動は、情報公開の徹底については情報提供がされて透明性が向上してきているとの声も聞かれます。また、品質改善については、パートナーシップ委員会や合同推進チームによる作業環境改善、不適合管理委員会などによって、日常業務の改善活動は枠組みがつくられ、定着しつつあると思っています。

さらに、より高い安全性と品質レベルを目指すために、業務プロセスの改善にも踏み込んだ活動も行っています。例えば、部門の専門知識を持つ仲間の協働した改善活動であるピアグループ・ピアチームによる取り組みです。これは、福島を含む3サイトと本店で同様な業務に携わっている仲間が集まり、共通の効率的な業務プロセスを構築していこうというもので、ピアグループ・ピアチームで取り上げるテーマには、発電や保全業務の仕事の業務プロセスを刷新するものや原子力の技術を

支える人材を計画的に育成していくことなどがあります。また、業務変革の推進役を育てるための「リーダーシップ開発研修(LDE)」を展開しています。これにはすでに当発電所から約100名の実務レベルの社員を米国の原子力再生コンサルタント研修に派遣し、変革を効果的に推進するためのスキルを身につけさせ、新たな業務スタイルを習得・実践させる人材を育成しています。

加えて、日常業務のプロセス改善の活発化に向けた発電所独自の新たな取り組みとして、この3月に「発電所変革推進会議」と、その下部組織で各部門の若手を中心に構成した「エージェントチーム」を立ち上げました。この会議は、発電所内での課題をトラブルや不適合が発生してから気づくのではなく、職場において埋もれがちな課題や放置されている問題を発見・発掘し、迅速に解決する目的で設置したものです。

このような取り組みによって、柏崎刈羽原子力発電所は改善・変革しているとの手ごたえを私自身感じているところですが、こうした活動は一朝一夕に結果がでるものではありません。今後も現在取り組んでいる活動をしっかり継続して確実に定着するようにしてまいります。

以上、全号機が運転再開した節目の所感と当発電所の取り組み状況を簡単にご紹介しましたが、このような中で、5号機が自動停止するトラブルが発生してしまい、地域の皆さまに大変なご心配をおかけいたしました。原因については現在、設備面や操作面などを調査しているところですが、詳細については対策を含めて結果がまとまり次第、公表する予定です。

以上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成17年7月)

発電所運転状況

平成17年7月14日

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況							補足説明	
			8	9	10	11	12	1	2		3
1号機 1,100MWe (S60.9.18運開)	第14回定期検査中 H17.6.14~	第13回 H14.9.3 ~ H16.5.14 停止期間 H14.9.3 ~ H16.4.8 (584日) (原子炉起動H16.3.27)	第14回定検による停止							[1号機] ・6月14日から第14回定期検査開始。(お知らせ済)。	
2号機 1,100MWe (H2.9.28運開)	運転中	第10回 H15.3.10 ~ H16.8.3 停止期間 H15.3.10 ~ H16.7.2 (481日) (原子炉起動H16.6.28)								[2号機] ・使用済燃料貯蔵プール、リラッキング工事(第一期)中。	
3号機 1,100MWe (H5.8.11運開)	運転中	第8回 H17.1.18 ~ H17.6.8 停止期間 H17.1.18 ~ H17.5.13 (116日) (原子炉起動H17.5.10)	第8回定検による停止								
4号機 1,100MWe (H6.8.11運開)	運転中	第8回 H16.8.7 ~ H17.4.20 停止期間 H16.8.7 ~ H17.3.25 (231日) (原子炉起動H17.3.22)	第8回定検による停止								
5号機 1,100MWe (H2.4.10運開)	第11回定期検査中 H17.7.4~	第10回 H15.3.1 ~ H16.6.4 停止期間 H15.3.1 ~ H16.4.30 (427日) (原子炉起動H16.4.27)	第11回定検による停止							[5号機] ・7月4日から第11回定期検査開始。(お知らせ済)。 ・7月3日に「復水器真空度低」によりタービンが自動停止し、これに伴い原子炉が自動停止した。(お知らせ済)	
6号機 1,356MWe (H8.11.7運開)	運転中	第6回 H16.7.10 ~ H16.11.10 停止期間 H16.7.10 ~ H16.10.15 (98日) (原子炉起動H16.10.12)	第6回定検による停止								
7号機 1,356MWe (H9.7.2運開)	第6回定期検査中 H17.3.1~H17.6.23 現在調整運転中	第5回 H15.9.23 ~ H16.2.18 停止期間 H15.9.23 ~ H16.1.19 (119日) (原子炉起動H16.1.16)	第6回定検による停止							[7号機] ・平成17年3月1日以来、第6回定期検査を実施してきたが、6月20日に原子炉を起動、6月23日に発電を開始し、現在調整運転中。(お知らせ済み) なお、8月上旬に総合負荷性能検査を受検予定。	

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」。

発電所設備利用率(%) (6月末現在)

6月	80.3%
17年度累計	76.5%
運転開始後累計	77.7%

発電所発電電力量(MWh) (6月末現在)

6月	4,746,482
17年度累計	13,720,352
運転開始後累計	697,582,844

ドラム缶発生量(本) (H16年度第4四半期)

当期発生本数	931
貯蔵庫累積貯蔵本数	14,144
貯蔵庫保管容量	30,000

使用済燃料貯蔵体数(体) (H16年度第4四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	10,980
使用済燃料貯蔵プール管理容量	15,977
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	21,541

構内従業員データ (7月1日現在)

従業員数 (人)	東京電力	999	
	協力企業	4,462	
	合計	5,461	
協力企業 地域別比率	県内	柏崎市	52%
		刈羽村	6%
		その他	16%
		小計	74%
	県外	26%	
協力企業社数(社)		516	

来客情報 (6月末現在)

	6月(人)	年度累計(人)
地元	774	3,220
県内	2,055	7,307
県外	2,933	7,191
国外	42	106
合計	5,804	17,824

今後の主なスケジュール

予定日	内容
7月30日	「き・な・せ」農涼まつり(き・な・せ) 第8回ジュニアサイエンスアカデミー
8月6日	サイエンスレクチャー(柏崎市市民会館)
8月6日・7日	サイエンスキャンプ(かしわざき海浜公園)
8月14日	第4回小学生クイズ選手権(ラビカ)
8月20日	「き・な・せ」夏休み親子工作教室と発電所見学会(き・な・せ)
8月19日・20日	銀粘土教室(エネルギーホール)
8月21日	銀粘土教室(き・な・せ)
8月25日	次回所長会見予定
7月16日~8月31日	サービスホール夏休みイベント(サービスホール)

テレフォンサービス 0180-99-2277

インターネットホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/kk-np/>

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部
0257-45-3131(代)